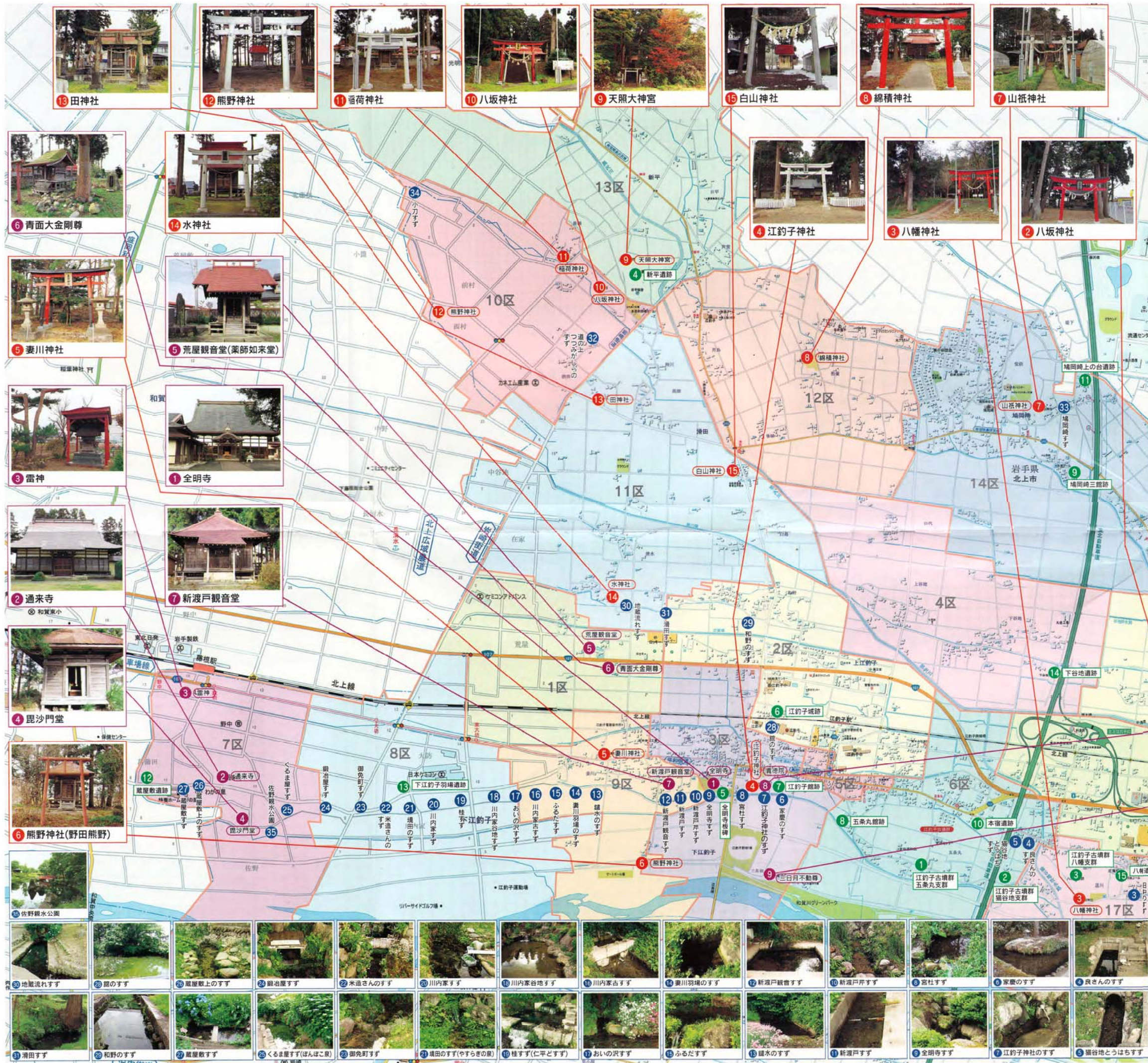
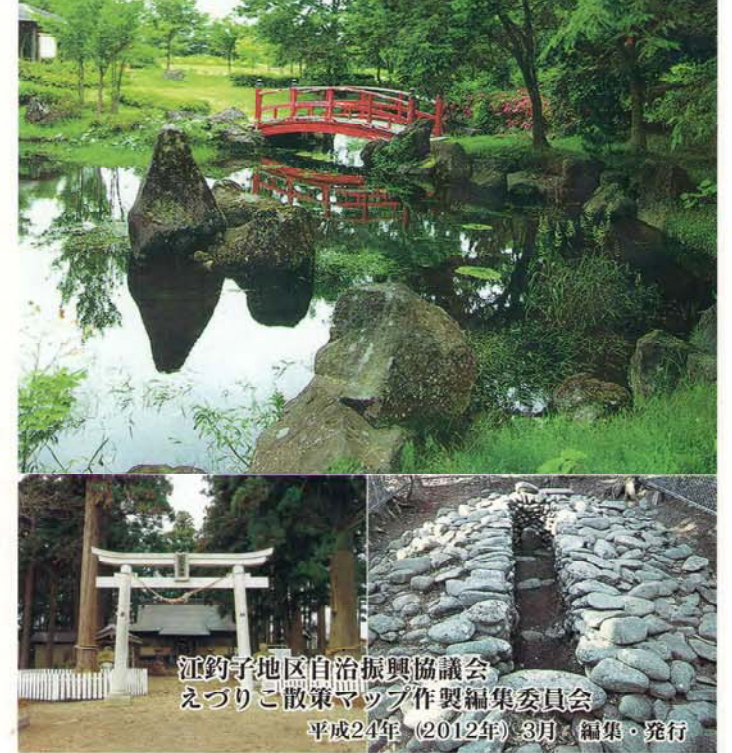


えぶりこ散策マップ

すず・社寺・史跡編



マップ表記 ● すず ● 神社 ● 寺・仏閣 ● 史跡



すず

- 1 三助すず 鳥海柳
江釣子地区の東端、豊富な水が湧き出ており、洒落た形をした「かど」に地域の人の洗い場として今なお利用されています。
2 畑中すず (鳥海柳佐藤さんの泉) 鳥海柳
鳥海柳佐藤家の南側、三助清水の西側の位置に湧き出ており、まったく自然のままの形で管理されています。
3 田中のすず (藤通すず) 田中
すずの名は地区名よりとっており、かつては豊富に湧き出る水を利用して稲連の苗を育てて販売していました。
4 良さんのすず (細谷地東すず) 道川
すずの名は清水の所有者である高橋良さんの名をもって呼ばれているものであります。
5 猫谷地とうはすず 道川
この地域一帯に湧く豊かなすずこそが、国指定の有名な猫谷地古墳群を作った人々の生活の基盤となったのです。
6 家農のすず 宿
すずの名は清水の所有者である江釣子家の屋号が家農と呼ばれていることに由来しています。
7 江釣子神社のすず 宿
江釣子神社の南斜面の石段を下りたところにあります。
8 宮村すず 宿
江釣子神社のすぐ西に位置し、大きくえくれた崖の下から水が湧いており、朝鮮芹(クレソン)が少し生えています。
9 全明寺すず 宿
450年以上前の建立といわれる由緒ある全明寺の西裏境内から湧き出すすずで、昔は水量も多く農家の供え水として又、生活用水として数多くの人に愛用されています。
10 新渡戸すず 妻川
この地域一帯は豊富に湧き出る清水を利用しての芹栽培が有名で県内の主産地となっています。
11 新渡戸すず 妻川
新渡戸三清水の一つであります。
12 新渡戸観音すず 妻川
当国33ヶ所の27番札所、新渡戸寺の崖下へ湧き出すすずで、岩手の名水20選にも選ばれています。
13 藤水のすず 妻川
藤水とは屋号(段丘上の家)で、家主が鎌で地面を突き刺したら水が湧き出したと、別説では阿部貞任が川向こうから射った矢がこの地に突き刺さり、そこから水が湧いたといわれています。
14 妻川羽場のすず 妻川
妻川羽場と呼ばれる屋号の家、南側段丘下から湧いていることより「羽場の清水」と呼ばれています。
15 ふるだすす 妻川
妻川と川内家のちょうど中間に位置し、段丘の部分が大きく窪んでいるところが湧口で、清水の真ん中に大きな岩が一つあり、その岩が「ふるだ(ガマズミ)のようであることより愛称されたものです。
16 川内家古すず 川内家
杉木立の斜面に古い石組みの間を静かに流れるすずで、かつてはかなりの水量であったといわれ、周辺はウグイス、フキ、ウレイ、セリ、ミヅバなどの山菜が豊富に生えていたところでした。
17 おいの沢すず 川内家
崖の上の「柏山家」の屋号「おいの沢」に由来する名称です。
18 川内家谷地すず 川内家
地権者である千田家の屋号で愛称されています。水量が豊富なすずとして知られたため、かつては落差を利用して水車を回し、脱穀や精米などに利用していたといわれています。
参考資料
・江釣子村史(江釣子) 神社寺院調査報告書(江釣子村教育委員会)
・泉のほとり(江釣子村芸術文化協会)
・清水めぐり(江釣子村芸術文化協会)
・中世城館跡分布調査報告書(岩手県教育委員会)

すず

- 19 桂すず (仁平すず) 川内家
幹回り4mもある桂の根元から湧き出すすずで、すずの名は怪力の持ち主「仁兵衛」にまつわる言い伝えに基づいています。
20 川内家すず 川内家
「川内家」とはこのあたりの地域名です。
21 境田のすず (やすらぎの泉) 川内家
昔は地権者である菅原家の屋号から「境田すず」と呼ばれていましたが、水環境整備事業でこの周辺が整備された際に名称を公募し、「やすらぎの泉」としている経緯があります。
22 米造さんのすず 川内家
「やすらぎの泉」のすぐ西側に位置し、段丘の中程にある石組みの下から湧き出す水は、せせらぎとなって流れ落ちています。
23 御免町すず 御免町
市道、妻川、蔵屋敷線の中間点で、御免坂の東側に位置し杉木立の中、石垣の間から静かに湧き水が流れています。
24 鍛冶屋すず 御免町
御免町十文字坂の西側、杉木立のなかで静かに湧き出ています。
25 くるま屋すず (ぼんぼり泉) 佐野
市道佐野線の東端で水環境整備事業で造られた歩道の出入口となっている場所にあります。
26 蔵屋敷上のすず 蔵屋敷
「上の清水」とは、地権者である高橋家の屋号が蔵屋敷の上と呼ばれていたことから由来しています。
27 蔵屋敷すず 蔵屋敷
ここは江釣子の西南端で和賀町長沼との境に位置するところであり、蔵屋敷」とは、むかし薪を多く採り、米蔵や金蔵を建て、又は洪水等に備えてかま蔵が並んでいたことから地名になっています。
28 鏡のすず 塚
体育館裏手にあるフェンスに囲まれた池のような大きな泉。
29 和野のすず 和野
和野とは9地区の地名であり、住宅地より少し下がったところから湧き出ている。
30 地蔵流すず 中通
清田の梅ノ木地区にあり、以前は水量も多く村一番の清水と言われたが最近では水量が少なくなっています。
31 清田すず 中通
清田清水といっても、ここは和野地区のすぐ西に位置しております。
32 道の上つつみしがらすず 道の上
現在はすずというより沼のような状況となっており、防護柵としてフェンスが施されている。
33 鳩岡崎すず (吉兵衛さんのすず) 鳩岡崎
鳩岡崎遺跡の南西100m余りの、後藤家の屋敷のはずれ杉木立の中から清らかな泉が音もなく湧き出ています。
34 小刀すず 道の上
江釣子の西北端で和賀町と境を接するあたり、部落も尽きるとされる田んぼの中に「カ所木立」が残されている所にあります。
35 佐野親水公園 佐野
江釣子湧水群の西端で、市道佐野線の西側(ぼんぼり泉の西側)に位置している。
参考資料
・江釣子村史(江釣子) 神社寺院調査報告書(江釣子村教育委員会)
・泉のほとり(江釣子村芸術文化協会)
・清水めぐり(江釣子村芸術文化協会)
・中世城館跡分布調査報告書(岩手県教育委員会)

神社

- 1 白山神社 北鬼柳
祭神年代等不明で、元観音堂であるといわれ相当古くからあったお堂ですが詳細は不明です。
2 八坂神社 北鬼柳
明治39年の火事により堂社、その他文献なども焼失し建立年代等詳しくは不明です。
3 八幡神社 北鬼柳
建立年代等不明ですが、明治維新までは阿弥陀尊を本尊として菅田別命を合祀して元岡田村の鎮守としていたと考えられます。
4 江釣子神社 下江釣子 宿
建立年代は不明ですが、伝説によると、寛永元年(1225年)9月19日、下江釣子に禰吉の五郎という者がいて、その子、六郎が長い間病気で回復の兆しが見えなかった。
5 妻川神社 妻川
お堂のほかに、小石を積み上げた塚があり、その頂上に道祖神、山神と刻した石碑がたてられており、小さい石の祠もありません。
6 熊野神社(野田熊野) 下江釣子
残っている記録によると、開闢は全明寺開祖高円祥輪和尚でその後四代大進和尚、奥寺八左衛門に夢の示現があり元禄14年に熊野三山を分霊し、また明治14年に御神体を勧請したとあります。
7 山越神社 鳩岡崎
天正12年(1584年)相野支吾資道が岩崎の古蹟より分家して鳩岡崎に往遷を移し、大子堂を建立したのが始まりといわれています。
8 総持神社 法原
永享六年(1434年)に下瀬川近江という人が和賀郡法原の法原野に海神を祀る法皇大権現を建て、その子孫が正保元年(1644年)に清田に大権現を移しました。
9 天龍大宮宮 新平
和元年(1615年)頃に伊勢皇大神宮より、伊勢信仰を広めるために東北地方を巡幸した際、行在所になったところに五穀豊穡、家内安全を祈願し、堂宇を建立したのが始まりであり、明治維新後、この社を新平部郷の鎮守として今日に至ります。
10 八坂神社 清田 長根
もと、清田村の鎮守として祀られた観音堂で、荒屋大坊にありました。
11 鳩岡神社 清田 長根
由緒伝承等不明ですが古い創建と伝えられています。
12 熊野神社 清田 道の上
由緒年代等不明ですが、以前は別当宅を含め周囲に堰があつて古き鎮守を思わせる地形であったといわれています。
13 田神社 清田 中通り
由緒等不明ですが、農耕神として祀られたものと考えられます。
14 水神社 清田 中通り
妻川に流れてきたお地蔵様を抬げ、水神様として祀ったのが始まりと伝えられています。
15 白山神社 清田 中通り
由緒不詳ですが、大洪水の際に流れてきた像を農耕の神として祀っています。
参考資料
・江釣子村史(江釣子) 神社寺院調査報告書(江釣子村教育委員会)
・泉のほとり(江釣子村芸術文化協会)
・清水めぐり(江釣子村芸術文化協会)
・中世城館跡分布調査報告書(岩手県教育委員会)

寺

- 1 全明寺 宿
開闢は日山上人。全明寺、本尊は釈迦如来。
2 通来寺 蔵屋敷
浄土真宗 真本願寺派 月光山 通来寺。本尊は阿彌陀如来。
3 雷神 野中
由緒等は不明ですが、昔からこの地にあり、雷神を祀っています。
4 毘沙門 佐野
建立年代由緒等は明らかではありませんが、明和元年堂社再興の棟札に記載されること、南平十四代利雄公の名により惣奉行坂平五右衛門、代官太田大助、平賀儀兵衛が担当し「太守公御武運長久、天下泰平国家安んず」を祈願したとあります。
5 荒屋 蔵屋敷
本尊は薬師如来座像。ほかに5体の仏像があるが、元は8体あったといわれています。
6 南面大金剛尊 荒屋
昭和12年に火事で文書等が焼失し詳しいことはわかりません。
7 新渡戸観音堂 妻川
人当山 新渡戸寺。本尊は十一面観世音。
8 貴徳院 宿
本山修験宗 貴徳院。本尊は不動明王。
9 三日月不動尊 三日月
本尊は座像不動尊。別当高橋家の祖先高橋宮助氏が明治初年頃自性院養老僧都より法燈を継いだ際この不動尊を譲られたものと云われています。
10 江釣子古墳群 五葉丸支群 (国指定史跡)
7～8世紀の古墳群で、川原石積み石室をもち、周溝を伴う円墳です。
11 江釣子古墳群 猫谷地支群 (国指定史跡)
7～8世紀の古墳群で、川原石積み石室をもち、周溝を伴う円墳です。
12 新平部遺跡 (県指定史跡)
7～8世紀の古墳群で、川原石積み石室をもち、周溝を伴う円墳です。
13 全明寺板碑 (市指定文化財)
鎌倉時代後期(14世紀前期)に供養のために建てられた石塔です。
14 江釣子城跡
1590(天正18)年の豊臣秀吉の奥州仕置によって築かれた中世の城跡です。
15 中世の城跡跡です。自然の沢地形を利用した堀跡と土塁が北側に残っています。
16 五葉丸跡跡です。東西2郭からなり、西郭の西と北側に土塁が残り、西土塁の外側と東西郭の間堀跡が確認できます。
17 鳩岡崎三郎跡跡
中世の城跡跡です。西側に土塁が残り、発掘調査で掘立柱建物跡や堀跡が見つかりました。
18 本宿跡跡
縄文時代と古代の集落跡です。東北道の建設などに伴って実施された発掘調査で縄文時代後期初めの貯蔵用の穴や奈良時代～平安時代前期の竪穴住居跡などが発見されました。
19 鳩岡崎上の遺跡跡
縄文時代と古代の集落跡です。東北道の建設などに伴って実施された発掘調査で縄文時代前期の貯蔵用の穴や貯蔵用の穴が見つかり、大型住居跡の発見が目撃されました。
20 蔵屋敷遺跡跡
江釣子地区では数少ない弥生時代の遺跡跡です。
21 下江釣子羽場跡跡
古代の集落跡跡です。発掘調査で奈良時代後半から平安時代中頃までの竪穴住居跡が見つかり、集落が継続して営まれていたことが明らかになりました。
22 下谷地遺跡跡
東北道の建設に伴って実施された発掘調査で、平安時代中頃の土器や木器が多数出土し注目されました。
23 八幡遺跡跡
古代の集落跡跡です。発掘調査で古墳時代終り頃から平安時代中頃までの竪穴住居跡が見つかり、集落が継続して営まれていたことが明らかになりました。
参考資料
・江釣子村史(江釣子) 神社寺院調査報告書(江釣子村教育委員会)
・泉のほとり(江釣子村芸術文化協会)
・清水めぐり(江釣子村芸術文化協会)
・中世城館跡分布調査報告書(岩手県教育委員会)